



# あいち防災通信

第7号

●発行●  
愛知県・あいち防災  
協働社会推進協議会



## 私たちを襲う津波の脅威 カギはあなたの危機意識

東日本大震災における被害の多くは、津波が原因といわれています。津波の威力、みなさんご存知ですか？

平成23年3月13日宮城県名取市(愛知県防災航空隊撮影)

平成23年3月11日14時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の非常に大きな地震が発生しました。この地震により、宮城県栗原市で震度7、宮城県、福島県、茨城県、栃木県で震度6強など広い範囲で強い揺れを観測しました。また、東北地方を始めとする太平洋沿岸の広い地域で大津波が発生し、甚大な被害を出しました。

東日本大震災の死者・行方不明者は、合わせて2万2,000人以上(平成23年7月1日警察庁調べ)にのぼり、未曾有の大災害となりましたが、その犠牲者のほとんどは津波が原因といわれています。

東海・東南海地震等の発生が予想される愛知県にとっても、地震対策としての建物の耐震化や家具の固定に加え、津波対策についても他人事ではありません。今回のあいち防災通信では津波について特集します。津波が発生したとき、どう行動すればよいのでしょうか。

### 愛知県の主な被災地支援 (平成23年7月1日現在)

「私たち一人ひとりができることを —愛知県民は被災地の復興を支援します—」

平成23年3月14日から災害義援金の受付を始め、7月1日現在で3,540件334,695,756円の災害義援金が寄せられました。また、3月22日から28日の7日間を通して、数多くの物資のご支援を賜りました。県民の皆さまの温かいご支援に、心からお礼申し上げます。

今後とも、被災地のため、皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### 物資搬送

- 県の備蓄物資の提供  
毛布34,880枚、飲料水約92,000ℓ、アルファ米20,200食、マスク240,000枚など27品目
- 市町村からの物資の提供  
アルファ米、乾パン、クラッカーなど食料品約3,600箱分

#### ボランティア

- 「あいちなごや東日本大震災ボランティア支援連絡会」の発足
- 医師・看護師等医療従事者のボランティア募集

#### 職員派遣

- 愛知県宮城連絡所の設置(宮城県庁内)
- 愛知県被災地支援隊(宮城県多賀城市)
- 災害支援ナース・児童福祉関係職員・「心のケアチーム」、応急給水応援、工業用水道施設の応急復旧のための職員派遣(宮城県)
- 保健師、公衆衛生担当職員、ドクターヘリ(岩手県)
- 医師・放射線技師等(福島県)
- 災害派遣医療チーム(DMAT)、日赤医療救護班(岩手県、宮城県、福島県、茨城県)
- 県防災航空隊、県内市町村消防本部の緊急消防援助隊(岩手県、宮城県へ延べ633隊・2,390名)
- 捜索救助活動、交通規制、遺体の身元確認のための警察職員(岩手県、宮城県、福島県)

#### 被災者受入支援

- 被災者への住宅提供  
県営450戸、市町村営360戸、企業964戸
- 人工透析が必要な方への県営住宅の優先提供  
450戸のうち50戸
- 災害被災者支援資金貸付事業  
社会福祉協議会の貸付事業への愛知県単独事業による上乗せ
- 受入被災者登録制度の実施
- 生活必需品・日用品の提供  
タオル、衛生用品、食器類など
- 被災地からの児童生徒の公立学校等への受入
- 被災者の臨時雇用職員としての受入